

仙台高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	技術者の日本語Ⅲ	
科目基礎情報							
科目番号	0016		科目区分	一般 / 必修			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2			
開設学科	名取キャンパス一般科目		対象学年	2			
開設期	通年		週時間数	2			
教科書/教材	2年生留学生が対象となる科目（日本語を除く）の使用教材						
担当教員	梅木 俊輔						
到達目標							
教科学習に必要なとなる日本語運用に馴染み、教科学習が基本的には周囲のサポートをほとんど受けることなく自立的に進められるようになる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
日本語で読む	周囲のサポートをほとんど受けることなく、理数系教科書を読むことができる。		周囲のサポートをほとんど受けることなく、理数系教科書のある程度読むことができる。		周囲のサポートをほとんど受けることなく、理数系教科書を読むことができない。		
日本語で聞く	周囲のサポートをほとんど受けることなく、理数系講義を聞くことができる。		周囲のサポートをほとんど受けることなく、理数系講義のある程度聞くことができる。		周囲のサポートをほとんど受けることなく、理数系講義を聞くことができない。		
日本語で話す	周囲のサポートをほとんど受けることなく、理数系授業のやりとりに参加することができる。		周囲のサポートをほとんど受けることなく、理数系授業のやりとりにある程度参加することができる。		周囲のサポートをほとんど受けることなく、理数系授業のやりとりに参加することができない。		
日本語で書く	周囲のサポートをほとんど受けることなく、理数系授業のノート・技術文書を書くことができる。		周囲のサポートをほとんど受けることなく、理数系授業のノート・技術文書のある程度書くことができる。		周囲のサポートをほとんど受けることなく、理数系授業のノート・技術文書を書くことができない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	本科目の目的は、2学年の留学生が履修する理数系専門科目の授業において、基本的には周囲のサポートをほとんど受けることなく、自立的に学習を進めていくために必要となる日本語の4技能（読む・聞く・話す・書く）を総合的に高めることにある。						
授業の進め方・方法	各理数系科目担当教員と連携し、2年生の理数系授業で使われる日本語について、各科目の使用教材を中心に行う予習・復習により、定着化を図る。また、これらを通じ、各自の専門分野に応じた語彙リストの作り方や授業外での自習用教材の探し方といった学習スキルについても実践形式で取り組む。授業では授業前課題と授業後課題を毎回指示するので、次回授業までに行ってくること。						
注意点	開講後、学習者の日本語力に応じ、授業計画・内容を変更することがある。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス		授業計画を理解し、前期の取り組みに自分なりの見通しが立てられるようになる。		
		2週	理数系教科書を読むための日本語Ⅲ（前期）①		周囲のサポートをしばしば受けつつ、理数系教科書を読んで理解できるようになる。		
		3週	理数系講義を聞くための日本語Ⅲ（前期）①		周囲のサポートをしばしば受けつつ、理数系の講義を聞いて理解できるようになる。		
		4週	理数系授業のやりとりに参加するための日本語Ⅲ（前期）①		理数系の授業・研究室で使われる日本語に馴染み、周囲のサポートをしばしば受けつつ、簡単なやり取りができるようになる。		
		5週	理数系授業のノート・技術文書を書くための日本語Ⅲ（前期）①		周囲のサポートをしばしば受けつつ、理数系授業のノートを書くことができるようになる。		
		6週	理数系教科書を読むための日本語Ⅲ（前期）②		周囲のサポートをしばしば受けつつ、理数系講義での板書やスライド、配布資料を読んで理解できるようになる。		
		7週	理数系講義を聞くための日本語Ⅲ（前期）②		周囲のサポートをしばしば受けつつ、理数系授業での様々な指示を聞いて理解できるようになる。		
		8週	理数系授業のやりとりに参加するための日本語Ⅲ（前期）②		理数系の授業でのグループワークやディスカッションに周囲のサポートをしばしば受けつつ、参加できるようになる。		
	2ndQ	9週	理数系授業のノート・技術文書を書くための日本語Ⅲ（前期）②		周囲のサポートをしばしば受けつつ、理数系授業の発表資料（スライド、レジュメ等）を作成することができるようになる。		
		10週	理数系教科書を読むための日本語Ⅲ（前期）③		周囲のサポートをしばしば受けつつ、理数系授業でクラスメイトが書いたノートや発表資料を読んで理解できるようになる。		
		11週	理数系講義を聞くための日本語Ⅲ（前期）③		周囲のサポートをしばしば受けつつ、理数系授業のグループワークやディスカッションでの発言を聞いて理解できるようになる。		
		12週	理数系授業のやりとりに参加するための日本語Ⅲ（前期）③		理数系授業における実験・研究・発表を周囲のサポートをしばしば受けつつ、行うことができる。		
		13週	理数系授業のノート・技術文書を書くための日本語Ⅲ（前期）③		周囲のサポートをしばしば受けつつ、理数系のレポートを書くことができるようになる。		
		14週	まとめ（2週～7週分）		既習事項の総合復習をし、定着化を図る。		

後期		15週	まとめ（8週～13週分）	既習事項の総合復習をし、定着化を図る。
		16週	学習の振り返りとフィードバック	
	3rdQ	1週	ガイダンス	授業計画を理解し、後期の取り組みに自分なりの見通しが立てられるようになる。
		2週	理数系教科書を読むための日本語Ⅲ（後期）①	周囲のサポートをほとんど受けることなく、理数系教科書を読んで理解できるようになる。
		3週	理数系講義を聞くための日本語Ⅲ（後期）①	周囲のサポートをほとんど受けることなく、理数系の講義を聞いて理解できるようになる。
		4週	理数系授業のやりとりに参加するための日本語Ⅲ（後期）①	理数系の授業・研究室で使われる日本語に馴染み、周囲のサポートをほとんど受けることなく、簡単なやり取りができるようになる。
		5週	理数系授業のノート・技術文書を書くための日本語Ⅲ（後期）①	周囲のサポートをほとんど受けることなく、理数系授業のノートを書くことができるようになる。
		6週	理数系教科書を読むための日本語Ⅲ（後期）②	周囲のサポートをほとんど受けることなく、理数系講義での板書やスライド、配布資料を読んで理解できるようになる。
		7週	理数系講義を聞くための日本語Ⅲ（後期）②	周囲のサポートをほとんど受けることなく、理数系授業での様々な指示を聞いて理解できるようになる。
		8週	理数系授業のやりとりに参加するための日本語Ⅲ（後期）②	理数系の授業でのグループワークやディスカッションに周囲のサポートをほとんど受けることなく、参加できるようになる。
	4thQ	9週	理数系授業のノート・技術文書を書くための日本語Ⅲ（後期）②	周囲のサポートをほとんど受けることなく、理数系授業の発表資料（スライド、レジュメ等）を作成することができるようになる。
		10週	理数系教科書を読むための日本語Ⅲ（後期）③	周囲のサポートをほとんど受けることなく、理数系授業でクラスメイトが書いたノートや発表資料を読んで理解できるようになる。
		11週	理数系講義を聞くための日本語Ⅲ（後期）③	周囲のサポートをほとんど受けることなく、理数系授業のグループワークやディスカッションでの発言を聞いて理解できるようになる。
		12週	理数系授業のやりとりに参加するための日本語Ⅲ（後期）③	理数系授業における実験・研究・発表を周囲のサポートをほとんど受けることなく、行うことができる。
		13週	理数系授業のノート・技術文書を書くための日本語Ⅲ（後期）③	周囲のサポートをほとんど受けることなく、理数系のレポートを書くことができるようになる。
		14週	まとめ（2週～7週分）	既習事項の総合復習をし、定着化を図る。
		15週	まとめ（8週～13週分）	既習事項の総合復習をし、定着化を図る。
		16週	学習の振り返りとフィードバック	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		技術文書の作成	ポートフォリオ	合計	
総合評価割合		60	40	100	
基礎的能力		60	40	100	